

科目名	キャリアデザイン1						年度	2024
英語科目名	Career design part.1						学期	前期
学科・学年	電子・電気科 電子工学コース 1年次		必／選	必	時間数	30	単位数	2
担当教員	前田 篤志			教員の実務経験	あり	実務経験の職種	研究開発/MOT	

【科目の目的】

自分の人生をより豊かなものにするためには、キャリアアップ、スキルアップが欠かせない。
自分のキャリア/スキルアップをいつまでにどのように実現すればよいのかについて学ぶ。

【科目の概要】

この科目を受講する学生は、社会的活動が協働の場であることを理解し、これまで体験してきた競争の場とは異なる考え方や能力が求められるこことを意識できるようになる。21世紀の「知識基盤社会」において働くとはどういう意義を持ち、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようになるのがねらいである。

【到達目標】

この科目では、学生が、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。

【授業の注意点】

授業は、オリエンテーション時における講義、および、実習中の実技で構成されている。実技指導は、実施競技のインストラクターが中心となり行うので、専門的で高度な技術修得が期待できる。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

評価基準=ループリック

ループリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	相手のことを慮れる	コミュニケーションがとれる	返事/返信/回答ができる	自分の主張しかしない	相手と連絡をとれない
到達目標 B	世間の常識と組織の常識の使い分けを心得ている	世間の常識を心得ている	世間には常識が存在していることを知っている	世間の常識が堅苦しいと思っている	常識なんて関係ないと思っている
到達目標 C	自分の所望する業界のリサーチができている	自分の所望する業界を理解している	自分の所望する業界がどこかを理解している	自分の所望する業界が未だわからない	業界に興味がない
到達目標 D	自分の所望する職種に必要なスキルアップは何かを理解している	自分の所望する職種を理解している	自分の所望する職種が何となくわかっている	自分の所望する職種が未だわからない	職種に興味がない
到達目標 E	他人が大切にしていることに共感できる	自分が大切にしているものが明確にわかっている	自分が何かにこだわりがあることを知っている	自分にとって何か大切なものがあるのかを探している	大切にしているものはない

【教科書】

ビジネス能力検定3級公式テキスト＊入学時に購入、キャリアサポートブック（本校出版）＊入学時に配布

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題	60% 試験と課題を総合的に評価する
レポート	20% 授業内容の理解度を確認するために実施する
成果発表（口頭・実技）	10% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する
平常点	10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		キャリアデザイン1			年度	2024
英語表記					学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法 自己評価
1	働く意味について考える	仕事や働き方を選ぶ基準について理解する	1 働くということ	なぜ働くのかについて自由討論を実施する		
			2 趣味と仕事	趣味を仕事にできるかについて議論を実施する		
			3 転職	転職について議論を実施する		
2	なりたい自分を創る	自分が大切にしていることが何かを把握する	1 夢と希望	夢や希望を持っているかについて確認する		
			2 現実	人間関係、学力、成績、出席、悩みを吐露する		
			3 大切にしていること	誰にも負けないものを持っているかについて確認する		
3	学生と社会人の違いを認識する	学校で求められることと社会が必要としていることを理解する	1 学校におけるプライオリティ	学校ではとにかくプロセスを重視していることを理解する		
			2 社会におけるプライオリティ	社会では先ず結果を重視していることを認識する		
			3 プライオリティ・ギャップ	学校と社会においてギャップを埋めるには、「生産性」ということを常に心得ておくことが重要である		
4	業種と企業について(1)	人に対するサービスを中心とした業種と企業について理解する	1 対人サービス	対人サービスについて学ぶ		
			2 HRについて	企業における人事部の役割について学ぶ		
			3 企業分析	サービス業の企業分析を実施する		
5	業種と企業について(2)	事物に対するサービスを中心とした業種と企業について理解する	1 物販サービス	物販サービスについて学ぶ		
			2 B2B	B2Bについて学ぶ		
			3 企業分析	物販業の企業分析を実施する		
6	職種について(1)	自分の生活との関わりから職種を理解する	1 技術職	技術職について理解する		
			2 営業職	営業職について理解する		
			3 研究職	研究職について理解する		
7	職種について(2)	職業の意味と多様性について理解する	1 総合職	総合職とはなにかについて理解する		
			2 一般職	一般職とはなにかについて理解する		
			3 専門職	専門職とはなにかについて理解する		
8	社会に出てから必要な力を養う(1)	読んで理解する力を養う	1 国語力	国語力とはなにかを理解する		
			2 読書	読書の大切さについて学習する		
			3 読解力	読解力の身に付け方について学習する		
9	社会に出てから必要な力を養う(2)	聴いて理解する力を養う	1 聞く力	他人の話を聞く力の大切さを理解する		
			2 リテラシー	聞いたことを自分で咀嚼する能力について学習する		
			3 正しさ	何を以て正しいとするか、正しく評価することについて議論する		
10	社会に出てから必要な力を養う(3)	話して自分で伝える力を養う	1 プレゼンテーション	ストーリーを語ることの大切さを理解する		
			2 論理	話す内容に論理があることによって相手に腹落ちさせることの大切さを学ぶ		
			3 1分間スピーチ	1分間スピーチを実施する		
11	社会に出てから必要な力を養う(4)	書いて自分で伝える力を養う	1 PREP	短文でシンプルな論理を構築する習慣をつける		
			2 俯瞰	書いた文章を何度も読み返す習慣をつける		
			3 推敲	書いた文章は推敲を重ねることによって磨き上げなければならないということを理解する		
12	ゲスト・スピーチから学ぶ	社会で活躍している人による講演	1 行動心理学	カリフォルニア大学アーバイン校 教授 招聘予定		
			2 行動経済学	元 Apple Inc. バイスプレジデント 招聘予定		
			3 技術マネジメント	早稲田大学大学院・ビジネススクール教授 招聘予定		
13	協働するために必要な能力を養う(1)	言葉での意思疎通が出来る	1 報連相	報連相の重要性について学ぶ		
			2 コミュニケーション	コミュニケーション不足がまねく事例についてケーススタディする		
			3 リテラシー	相手の主張を理解する能力について学ぶ		
14	協働するために必要な能力を養う(2)	職場で必要とされるコミュニケーションが出来る	1 報連相	報連相のケーススタディ研究を実施する		
			2 ヒヤリハット	ヒヤリハットのケーススタディから学ぶ		
			3 組織の不祥事	組織の不祥事についてケーススタディする		
15	まとめ	全体総括	1 世間の常識と組織の常識	常識について理解する		
			2 リテラシー	リテラシー能力の醸成の大切さを学ぶ		
			3 コミュニケーション	コミュニケーションの重要性についておさらいする		

評価方法: 1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価:s :とてもよくできた、A :よくできた、B :できた、C :少しできなかつた、D :まったくできなかつた

備考 等